



9-61  
歴史

『三国志』の世界  
～劉備と諸葛亮の真実～



会場

学園都市センター  
※ P87 参照

提供

帝京大学

曜日・回数

月曜日 10 回

時間

10:20 ~ 11:50

受講料

8,000 円

定員

30 名

実施日

9月	25日			
10月	2日	16日	23日	30日
11月	6日	13日	20日	27日
12月	4日			

備考

本講座ではおもに陳寿『三国志』で有名な三国時代を扱います。三国時代は小説・映画・漫画等々でたびたび日本でも取りあげられ、一般に娯楽の対象として人口に膾炙しています。そしてそのような小説・映画・漫画のほとんどが、劉備（字は玄德）と諸葛亮（字は孔明）を主人公としており、彼らの存在はたいへんに美化されています。では、彼らの人生とはじっさいにはどのようなものだったのでしょうか。彼らは何をめざし、何を犠牲にして、のし上がっていったのでしょうか。本講座では、一般に知られている『三国志』だけでなく、近年中国本土で続々と出土している文字資料（木簡や竹簡など）・考古資料・遺跡写真などを駆使し、最新の学問成果を援用しながら、以上の問いに答

えてゆきます。それによって三国志研究の最前線の一端を御紹介したいと思います。

受講生への

メッセージ



本講座では、『三国志』についてまったく知らない人にも、その世界をできるだけわかりやすくお伝えすることを目指しています。ただし本講座の一番の醍醐味はじつは、伝統的な『三国志』の見方をひっくりかえすところにあります。ですので、できれば事前に『三国志』に関する小説（たとえば吉川英治氏）・映画（たとえばレッドクリフ）・ドラマ・漫画などを御覧いただければ、より講義内容をお楽しみいただけます。

【講師】 柿沼 陽平（かきぬま ようへい） 文学部 史学科 准教授 .....

1980年、東京都生まれ。2009年に早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。中国古代史・経済史・貨幣史に関する論文を多数発表。著書に『中国古代貨幣経済史研究』（汲古書院）、『中国古代の貨幣 お金をめぐる人びとと暮らし』（吉川弘文館）等。小野梓記念学術賞・櫻井徳太郎賞大賞・冲永荘一学術文化奨励賞を受賞。現在は帝京大学文学部准教授、中国出土資料学会理事、日本秦漢史学会監事、三国志学会評議員等。